
冬の悪魔

ゆうゆうぽんかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

冬の悪魔

【コード】

N5150U

【作者名】

ゆづゆづばんかん

【あらすじ】

残酷なほど短い2ヶ月の春が終わり、街は再び長い冬に包まれようとしていた。

幼い頃父を亡くした少年イントは、近くのパン屋に勤める母コールに、女手一つで育てられてきた。毎月入る安定した収入。そのおかげで、彼らは家を借りることができていた。

しかし、待っていたのは残酷な現実。パン屋の主人が大きな街に店

を構えることになり、コールは解雇されてしまう。

金を払うあてのない親子は、借家を追い出される。吹雪の日、何のあてもなかった親子は、さまよった末に小さな、古ぼけた協会に辿り着く。

協会の中には、久しく使われていない暖炉があった。だが、残っていたのは僅かな灰ばかり。

暖もとれず、寒さで薄れゆく意識の中で、二人は自分たちの目の前に、黒づくめの何かが降り立つのを見た。

悪魔だった。

薄れゆく意識の中、イントが最後に覚えていたのは、母が黒いものに、何かを熱心に訴えていたことだった。

次の朝。

イントは柔らかいベッドから起き、自分の部屋のドアを開け、母に挨拶をした。

…この行為があまりにも自然すぎて、昨日確かにあった、吹雪の中の出来事が遠い幻のようだった。

母に聞いても、そんなことなどなかったと言う。

自分の記憶と、現実。

どちらが間違っているのか分からない。

自分の内に得体の知れない不安を抱えたまま、イントは「自分の家」での「いつもの生活」を送っていく…

白銀の街

残酷なほど短い2ヶ月の春が終わり、街は再び雪に包まれようとしていた。

この国には、春と冬しか季節がない。春には、草木が顔を出し、花を咲かせ、実を結ぶ。そして冬が訪れる。大地は豊かな緑を失い、瞬く間に白銀の世界へと変わる。草木は種となり雪の下で眠る。動物は雪の下の僅かな食料を求めて歩み続ける。こうして生き残った者たちが、命を次の世代へと伝えていく。

人間たちは春の間に食料を貯めて冬に備え、冬の間は温かい家で冬の寒さをしのぐ。

10歳の少年イントと、その母コールも、同じような生活を送る普通の親子であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5150u/>

冬の悪魔

2011年11月17日00時21分発行